

令和6年度第2回 松江市健康まつえ21基本計画推進委員会 議事要旨

1. 日時

令和7年2月13日(木) 14時00分～16時00分

2. 場所

松江市役所 3階 第二常任委員会室

3. 出席者

(1) 委員 (10名/12名中)

松本和也委員、吉川浩郎委員、安達伸次委員、勝部廣三委員、高麗優子委員、
福島喜美子委員、藤原みえ子委員、名越究委員、古志野純子委員、名和田清子委員
<欠席：藤井浩太郎委員、若林三成委員>

(2) 事務局

松岡健康福祉部次長、
健康推進課：岸本課長、堀江保健専門官、山根係長、伊藤係長、飯野管理栄養士長、
朝倉橋北グループリーダー、坂根橋南グループリーダー

4. 次第

(1) 開会

(2) 健康福祉部次長あいさつ

(3) 委員長あいさつ

(4) 議事

第3次健康まつえ21基本計画 令和6年度取組み状況及び令和7年度取組み
方針について

(5) その他

(6) 閉会

5. 会議経過

別紙のとおり

(1) 開会

(2) 健康福祉部次長あいさつ

- ・ 本計画を広く市民へ周知することの重要性
- ・ 本日の議事の説明

(3) 委員長あいさつ

○委員長あいさつ

○委員会の成立確認

- ・ 出席委員数：10名（委員数12名）
- ・ 半数以上の出席があり、松江市健康まつえ21基本計画推進委員会設置要綱の規定に基づき委員会が成立していることを報告

○情報公開

- ・ 松江市情報公開条例及びそれに基づく審議会等の公開に関する要綱の規定によって公開を行うことを報告

（以後、松江市健康まつえ21基本計画推進委員会設置要綱の規定により名越委員長が議事を進行）

(4) 議事

【議事 第3次健康まつえ21基本計画 令和6年度取組み状況及び令和7年度取組み方針について】

（事務局）

- ・ 資料1、資料2に沿って説明

（委員からの意見・質問等）

- ・ この計画は12年間の長期計画であり、目標に向かって着実に進んでいくことが重要である。特に、一年単位での結果に一喜一憂せず、将来の松江市民のために新しい一歩を踏み出すアイデアをこの委員会を出していきたい。

- ・ こどもの歯周病リスクについてどのように評価するとよいか（資料1 P9）。

→〈委員〉

- ・ こどもが親からの仕上げ磨きから離れ、セルフケアの重要性が増す。小学校高学年や中学生になるとセルフケアが重要であり、短期的なリスク評価には出血や歯茎の緩みが判定材料となる。

- ・ 松江市のこどもの歯肉問題について全国および島根県内と比較し、特に島根県内で松江市の歯肉問題が高い理由は何かあるのか。

→〈委員〉

- ・ 歯科保健指導の人材不足の可能性はあると思う。

- ・ 茹で置き野菜については、忙しい日々で手軽に野菜を摂れるので、前に行った食生活推進員養成講座で紹介した時には反響があった(資料1 P3)。

- ・ 茹でるのではなく、カットした野菜の冷凍保存でも大丈夫か。栄養的、衛生的な点でどう違うのか。

→〈事務局〉

- ・ 野菜を生そのまま冷凍するといった方法もある。今回は手軽に野菜を摂るための一つの例として茹で置き野菜を紹介している。

→〈委員〉

- ・ 大根やニンジンなどは、茹でるとビタミンCなどのビタミン類が流出しやすいが、食感や美味しさを考えると、一度茹でてから冷凍する方が良い場合もある。茹でることで細胞が崩れて味が染み込みやすくなり、味噌汁などに使う場合は茹でてから冷凍するのが良い。キャベツや白菜などは、生そのまま冷凍しても問題ない。

- ・ 物価高騰に伴う食生活の影響について懸念があるがいかがか。資料で紹介しているレシピは忠実に守るべきなのか。

→〈事務局〉

- ・ レシピは手に入りやすい食材で代用可能で、各家庭で工夫して問題ない。自治体としてレシピの配布には注意が必要で、多くの人が閲覧すると受け止め方も様々で、伝え方の工夫が重要だと感じている。

- ・ 健康まつえ 21 推進隊としての活動において、がん検診の重要性と早期発見のための啓発活動は重要であると思う。がんの進行具合によるがん患者の生存率についてデータを示し、伝えていくとよいと思う。また、ラジオ放送による啓発活動も有効ではないか。

- ・ 健康な街づくりを目指すには、「健康まつえ 21 基本計画」の市議会議員の理解も大切であると思う。

- ・ こどもたちが健康に興味を持つことで、自主的に健康的な行動につながり、メディアへの依存が減るのではないかと思う。

- ・ PTA 連合会などの研修会で食育をテーマにして、親がまず勉強することが重要であると

考える。

- ・ 乳幼児健康相談の参加者が減少しており、これは保育所に預けて働く母親の増加が参加者減少の一因であると思う。やはり地域活動を大切にしながら、市が実施する子育ての事業などに関わるなど、活動を拡げていきたい。
- ・ ヤングケアラーやビジネスケアラーの問題は、食育や歯科治療、親からの指導など、全てに関わる問題だと思う。親がいない子どもやひとり親の子どもが増えている現状に対応し、親だけで子どもを育てられない状況に対処する方法を考えている。学校でも子どもたちの環境には注意を払っているが、事業所では本人が言わなければわからない。病院の先生たちも患者の背景や家族構成を把握できていない。このため、働き盛りの人や子どもたちを守るための連携が必要で、対応する仕組みが必要ではないか。地域の連携が重要になってきていると感じている。
- ・ 資料の中に、死亡原因としてがんについてのデータがあるが(資料1 P11)、これは死亡届に記載される病名(例えば心筋梗塞や肺炎)と一致しない場合でも、がんを患っていた場合のデータなのか。

→〈委員〉

- ・ 死亡届に記載された病名に基づいている。死亡届には様々な病気が記載され、最終的に寝たきりになって肺炎になった場合、肺炎が原因として記載される。そのため、死亡診断書に大腸がんや肺がんなどが書かれていれば、それも含めている。ただし、具体的に分けられているかは不明で、一般的には癌や脳卒中、心筋梗塞、心疾患が主な死亡原因として記載され、その中で癌が約30%程度。
- ・ 補足で、直接癌で亡くなった人の数字が含まれているので、過去に癌を克服した人は含まれていない。
- ・ 健康診断を受けない人や健康への関心が低い人というのは、「健康に自信がある」「自覚症状がない」と考えている人が多い。一方、健康に関心の高い人は講演会などに来てくれる。そういった健康に関心の高い人から、自身の友人や大切な人へ、例えば検診を受けましょうと言った声かけをしてもらえれば、この目標に近づいていくのではないか。
- ・ 歯の健康に関しても、全てのライフステージにおいて口の健康を知ってもらいたいが、働き盛りの人はなかなか関心を持ちにくい現実がある。例えば、労働安全衛生大会などの働き盛りの人がいる場で、子どもや高齢者の健康について話すことはいかがか。

→〈委員〉

- ・ その考えはいいと思う。企業として子育て支援や介護問題に関する取組みを続けることで、企業風土が育つ。歯医者に行きやすいよう、短時間の有給休暇

を取りやすい環境を整えるなどの取組みは大切で、企業がこうした取組みを増やせば、必然的にいい方向に向かっていくと思う。

- ・ 生活には、家族があつて、働く場所があつて、場合によっては両親などが関わってくる。様々な要素がある中で、どうやって健やかに暮らしていくのかを考えることが重要。健康づくりに取り組む仲間や支援者を増やし、いろいろな関係者がつながっていく中で、つながりを意識することが大切だと改めて感じた。

→<事務局>

- ・ 健康まつえ 21 基本計画を、どのようにして多くの市民の皆様を知っていたか、健康に無関心な人に対しどのように伝えてゆくか、様々な団体と連携し、少しずつ取組みを前に進めたい。引き続き皆様のご協力をお願いしたい。

(5) その他

○事務局より以下を説明

- ・ 令和 7 年 6 月 30 日で現委員の任期満了（再任は妨げない）
→新年度になったら各団体へ委員推薦依頼させていただく。個別に相談させていただく場合もある。
- ・ 次の委員会は令和 8 年 1 月または 2 月になる予定。

(6) 閉会

令和 年 月 日

松江市健康まつえ 21 基本計画推進委員会

委員長